



DVD Navigation Map Vol.2

Type II

ナビゲーションを初めて使うかたへ

クイックブック

すぐ使いたい
ときに
読む本
2

ナビゲーションの基本的な機能を説明しています。

本書では、より簡単に操作を行い、より早くナビゲーションに親しんでいただくため、機能仕様に関する説明や注意点などは省略しています。

それぞれの機能についてより詳しく知りたいときは、「ナビゲーションブック」をご覧ください。

Pioneer

目次

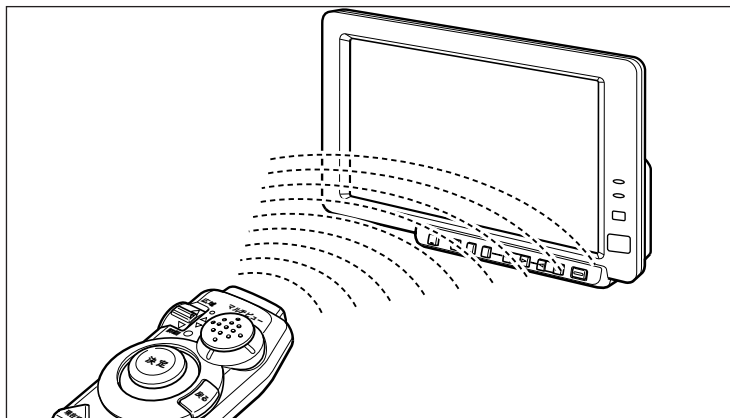
初めてお使いになるときは、『スタートブック』の「準備」を参照して、必ず3Dハイブリッドセンサーのリセットを行ってください。3Dハイブリッドセンサーのリセットを行わないと、ナビゲーションの誤差が大きくなる場合があります。

リモコンを向ける方向	4
パイオニア製TVモニターと組み合わせている場合	4
他社製のTVモニターと組み合わせている場合	4
リモコンの操作説明について	5
〔決定〕ボタン/マルチビューコントローラーの押しかた	5
ジョイスティック/マルチビューコントローラーの倒しかた	5
スケールコントローラーの倒しかた	5
地図の見かたや操作を覚えよう	6
自分の車の現在地を確認しよう	6
地図を動かしてみよう	7
地図の縮尺を変えてみよう	8
遠い場所まで、よりすばやく地図を動かそう	9
地図の表示方法を変えてみよう	10
自宅の場所を登録しておこう	12
自宅にいるときは	12
自宅以外の場所にいるときは	14

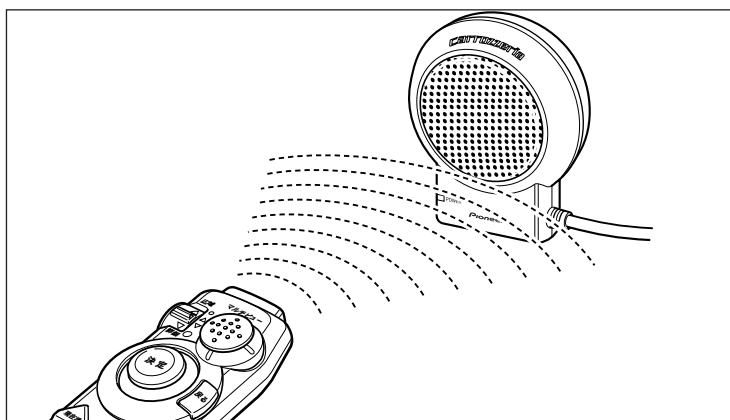
行き先を決めてルートを設定しよう	18
行き先の探しかたを選ぶ	18
複数のルートが探索されたら	18
自宅に帰る	19
ジャンルから行き先を探してみよう	21
住所から行き先を探してみよう	24
電話番号から行き先を探してみよう	27
ナビゲーションに道案内をさせよう	30
現在地画面を表示させ、車をスタートさせよう	30
音声による誘導・案内	31
音声で操作しよう	32
音声操作のポイント	32
操作の流れを覚えよう	33
地図の縮尺を変える	34
地図の表示方法を変える	34
自宅に帰るルートを探索する	34
ナビゲーションの誘導に従って操作しよう	35
行き先を決めてルートを探索させてみよう	36
施設名を発話してからルート探索を始めよう	37
ワンタッチでできる操作を覚えよう	38
ルートから外れてしまったので戻りたい	38
突然の渋滞や工事などを迂回したい	38
聞き逃した音声案内をもう一度聞きたい	38
次の案内地を地図で確認したい	38
ルート上の渋滞の有無を確認したい	39
自宅に帰るルートをすばやく探したい	39
地図の文字を一時的に消したい	39

リモコンを向ける方向

パイオニア製TVモニターと組み合わせている場合
リモコンの先端(送信部)をTVモニターの受光部に向けて操作します。



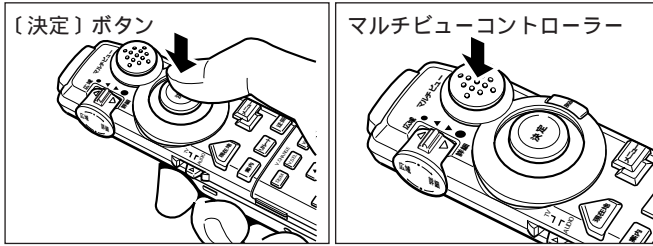
他社製のTVモニターと組み合わせている場合
リモコンの先端(送信部)を受光部付スピーカー(付属または別売の「CD-TS36」)に向けて操作します。



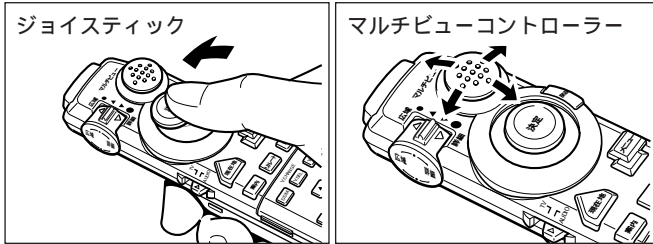
受光部に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このような場合は、直射日光をさえぎってください。

リモコンの操作説明について

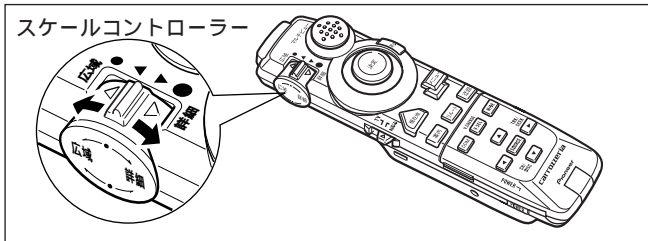
〔決定〕ボタン / マルチビューコントローラーの押しかた
本書で“〔決定〕ボタンを押す”と表記されているときは、リモコンの
〔決定〕ボタンを上からカチッと1回押します。(マルチビューコントロー
ラーの場合も同様です。)



ジョイスティック / マルチビューコントローラーの倒しかた
本書で“ジョイスティックを倒す”と表記されているときは、リモコン
のジョイスティックを上下・左右・斜めに傾けます。(マルチビュー
コントローラーの場合も同様です。)

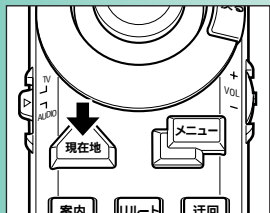


スケールコントローラーの倒しかた
本書で“スケールコントローラーを倒す”と表記されているときは、
スケールコントローラーを「広域」側や「詳細」側に傾けます。(ス
ケールコントローラーはリモコンの裏側にも付いています。)



自分の車の現在地を確認しよう

ナビゲーションブックでは▶ Chapter1の「自分の車の現在地を確認する」リモコンの〔現在地〕ボタンを押してみましょう。自分の車の現在地周辺の地図が表示されます（現在地画面）。



自車マーク
自分の車の現在地と進行方向を表示します。車の走行に合わせて、自車マークと地図が自動的に動きます。

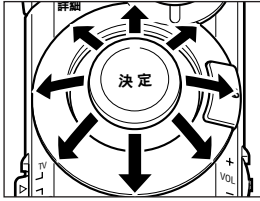
現在地画面の見かた（ノーマルビューの場合）

ナビゲーションブックでは▶ Chapter1の「地図表示の見かた」



地図を動かしてみよう

ナビゲーションブックでは▶ Chapter1の「見たい場所まで地図を動かす」地図を動かしたい方向にジョイスティックを倒してみましょ。倒した方向に地図が動きます。これをスクロールといいます。地図をスクロールさせると、画面の中心に十字カーソルが表示されます(スクロール画面)。



スクロール中



スクロール方面表示
地図の縮尺を10m～
1kmスケールにしてい
るときに表示されます。

スクロール画面の見かた(ノーマルビューの場合)

ナビゲーションブックでは▶ Chapter1の「地図表示の見かた」



十字カーソル
画面の中心に
表示されます。

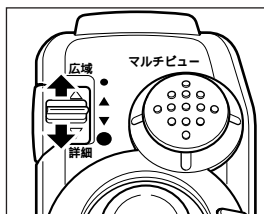
現在地から十字
カーソルまでの
直線距離

十字カーソルの位置の地名

地図の見かたや操作を覚えよう

地図の縮尺を変えてみよう

ナビゲーションブックでは▶ Chapter1の「地図の縮尺を変える」スケールコントローラーを「広域」側に倒すと、地図の縮尺が大きくなり、より広い範囲が表示されます。「詳細」側に倒すと、地図の縮尺が小さくなり、より詳しい地図が表示されます。



「詳細」側に倒す ↑
↓ 「広域」側に倒す

スケール表示

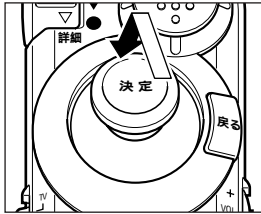


スケールバー スケール円
スケールコントローラーを倒したときに表示されます。
ノーマルビューでは、半径がスケール表示の距離になります。(ナイアガラビューでは直径がスケール表示の距離になります。)

- ツマミを1回ずつ倒すと、スケール表示ごとに縮尺が変わります。(例：10m ↔ 25m ↔ 50m ↔ 100m ↔ 200m ↔...)
- ツマミを倒し続けると、細かく縮尺が変わります(フリーズーム)。この場合、スケール表示はそのまま、スケール円の大きさが変化して、縮尺が変わったことを示します。

遠い場所まで、よりすばやく地図を動かそう

ナビゲーションブックでは▶ Chapter1の「すばやく見たい場所の地図を表示させる」地図を動かす方向にジョイスティックを倒したまま、さらに〔決定〕ボタンを押し続けてみましょう。画面を左右2つに分割して、より高速でスクロールします（ハイパーツインスクロール）。



左右2分割



左画面はそのままの縮尺で、右画面は2段階大きい縮尺で、両方同時にスクロールします。

ジョイスティックを離して約3秒経つと、画面が1画面表示に戻ります。〔現在地〕ボタンを押すと、現在地画面に戻ります。

地図の表示方法を変えてみよう

ナビゲーションブックでは▶ Chapter1の「地図の表示方法を変える」

1. マルチビューコントローラーを1回押して、ビュー切り換えメニューを表示させる。

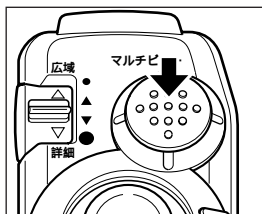


メニュー上段には、現在選択されている表示方法の名前が表示されます。

2. マルチビューコントローラーを左右に倒して表示方法を選ぶ。



3. 表示方法を選んだら、マルチビューコントローラーを1回押す。



選択した表示方法で地図が表示されます。

ノーマルビュー

通常の地図（平面の地図）で表示されます。



スカイビュー

上空からヘリコプターで見ているように地図を表示します。



ナイアガラビュー

上半分はスカイビューで、下半分はノーマルビューで地図を表示します。



ドライバーズビュー

ドライバーの目線から見たように地図を表示します。



ツインビュー

画面を左右2つに分割し、左画面はスカイビューで、右画面はノーマルビューで表示します。



ハイウェイモード

高速道路走行時の専用画面で、走行に役立つ情報が表示されます。



ハイウェイマップ

高速道路や有料道路（青色で表示される道路）だけを目立たせた地図です。



本機を使い始める前に自宅の場所を登録しておきましょう。自宅の場所を登録しておくと、ドライブ先から自宅へ帰るときなど、簡単な操作でルートを設定できるようになります。

自宅にいるときは

1. [メニュー] ボタンを1回押してメインメニューを表示させる。



2. ジョイスティックを上下に倒して **場所** を選び、[決定] ボタンを押す。



3. ジョイスティックを上下に倒して **登録する** を選び、[決定] ボタンを押す。



4. ジョイスティックを上下に倒して **ここを登録する** を選び、[決定] ボタンを押す。



5. ジョイスティックを上下に倒して「自宅」で登録するを選び、〔決定〕ボタンを押す。



6. ジョイスティックを左右に倒して「登録」を選び、〔決定〕ボタンを押す。



自宅の場所が登録されました。



自宅の場所を登録しておこう

自宅以外の場所にいるときは

ナビゲーションブックでは▶ Chapter5の「自宅を登録する」

- 1.〔メニュー〕ボタンを1回押してメインメニューを表示させる。



2. ジョイスティックを上下に倒して「場所」を選び、〔決定〕ボタンを押す。



3. ジョイスティックを上下に倒して「登録する」を選び、〔決定〕ボタンを押す。



4. ジョイスティックを上下に倒して「探して登録する」を選び、〔決定〕ボタンを押す。

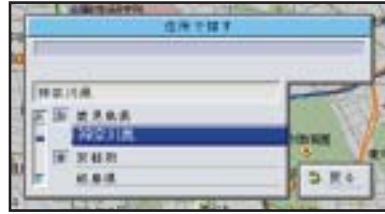


5. ジョイスティックを上下に倒して「住所で探す」を選び、〔決定〕ボタンを押す。

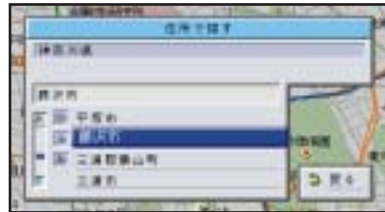


6. ジョイスティックを上下に倒して都道府県名を選び、〔決定〕ボタンを押す。

スケールコントローラーを倒すと、「あ行」から「か行」と、リストを行ごとに送ることができます。

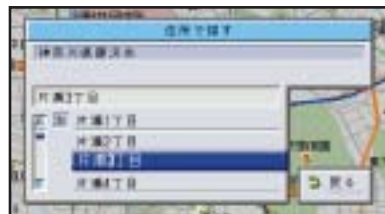


7. ジョイスティックを上下に倒して市区町村名を選び、〔決定〕ボタンを押す。



8. ジョイスティックを上下に倒して地名を選び、〔決定〕ボタンを押す。

地名を選んで〔決定〕ボタンを押した後、番地のリストが表示された場合は、探したい場所の番地を選び、〔決定〕ボタンを押してください。号のリストが表示された場合も、同様に操作してください。



9. 指定された住所付近の地図が表示されたら、ジョイスティックを上下・左右・斜めに倒して十字カーソルを自宅の位置に合わせ、「決定」ボタンを押す。

地図の縮尺を小さくすると、正確に位置を合わせられます。



10. ジョイスティックを上下に倒して「自宅」で登録するを選び、「決定」ボタンを押す。



11. ジョイスティックを左右に倒して「登録」を選び、「決定」ボタンを押す。



自宅の場所が登録されました。



自宅の場所を登録しておこう



行き先の探しかたを選ぶ

手持ちの情報を手がかりにして、行き先のある場所を探します。

- 自宅に帰る場合（自宅を登録している **自宅にする**（P.19）
ときのみ操作できます。）
- 行き先の施設分類（駅、高速道路施設、**ジャンルで探す**（P.21）
スキー場やゴルフ場などのジャンル）
がわかっている場合
- 行き先の住所がわかっている場合 **住所で探す**（P.24）
- 行き先の電話番号がわかっている場合 **電話番号で探す**（P.27）
（代表的な施設の場合は、ピンポイントで表示できます。）

ほかにも、名前、郵便番号、テーマなどで行き先を探すことができます。

行き先によっては、行き先として指定した場所を中心とした地図ではなく、行き先からすこし離れた場所の地図が表示されます。このような場合は、地図が表示された後、地図を動かして、行き先の場所に合わせるか、他の探しかたを試してみてください。

複数のルートが探索されたら

行き先を決めてルートを探させると、行き先までのルートの候補が6本探索されます。候補の中から好みのルートを選んでください。

ジョイスティックを左右に倒すと、それぞれのルートの形状と探索条件を地図上で確認できます。また、**行程一覧表**を選ぶと、探索条件などを一覧で確認することができます。

ルートに有料道路が含まれる場合は、画面の右下に高速道路の入口と出口の名称が表示されます。（ルートの始点または終点が高速道路上にある場合、入口と出口のうち片方しか表示されないことがあります。）



	探索条件	
	基準	有料
1/6	推奨	標準
2/6	距離優先	標準
3/6	別ルート	標準
4/6	推奨	回避
5/6	距離優先	回避
6/6	別ルート	回避

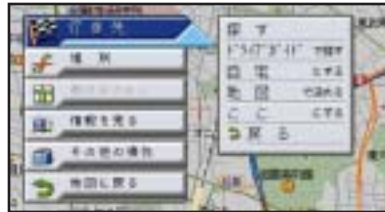
自宅に帰る

ナビゲーションブックでは▶ Chapter2の「自宅に戻るルートを探索させる」

1. [メニュー] ボタンを1回押してメインメニューを表示させる。



2. **行き先** を選び、[決定] ボタンを押す。



3. ジョイスティックを上下に倒して **自宅にする** を選び、[決定] ボタンを押す。

自宅が行き先に設定されて、地図上にマークがつきます。



4. **探索開始** を選び、[決定] ボタンを押す。

現在地から自宅に帰るルートを探し始めます。(探し終わるまでの時間は、現在地と自宅の距離によって異なります。)



探索が終わると、自宅に帰るルートの候補が6本表示されます。



行き先を決めてルートを設定しよう

5. ジョイスティックを左右に倒して候補から好みのルートを選び、「決定」ボタンを押す。

候補ルートは6本表示されます。(すべての候補ルートが同じルートになることもあります。)



自宅に帰るルートが設定されました。

続いて「ナビゲーションに道案内をさせよう」(P.30)をご覧ください。

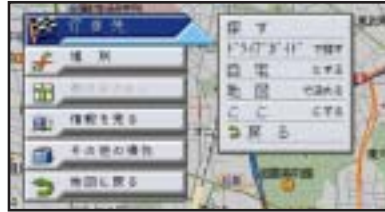


ジャンルから行き先を探してみよう

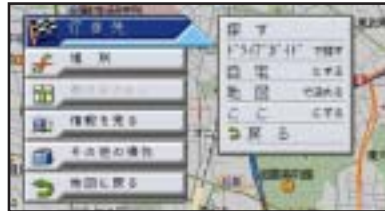
ナビゲーションブックでは▶ Chapter3の「ジャンルを指定して探す」

1. [メニュー] ボタンを1回押してメインメニューを表示させる。

山梨県の富士キャンプ場を探してみましょう。



2. **行き先** を選び、[決定] ボタンを押す。



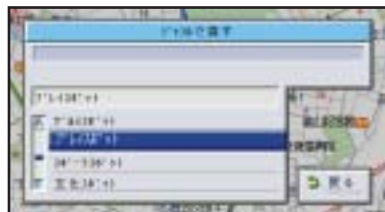
3. **探す** を選び、[決定] ボタンを押す。



4. ジョイスティックを上下に倒して **ジャンルで探す** を選び、[決定] ボタンを押す。

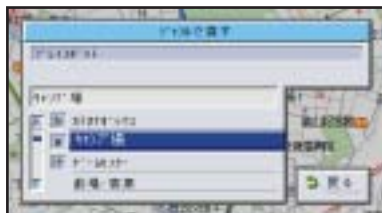


5. ジョイスティックを上下に倒して **プレイスポット** を選び、[決定] ボタンを押す。



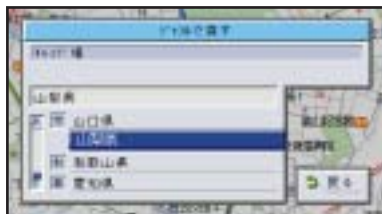
行き先を決めてルートを設定しよう

6. ジョイスティックを上下に倒して **キャンプ場** を選び、〔決定〕ボタンを押す。



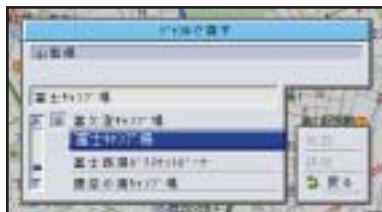
7. ジョイスティックを上下に倒して **山梨県** を選び、〔決定〕ボタンを押す。

スケールコントローラーを倒すと、「あ行」から「か行」と、リストを行ごとに送ることができます。

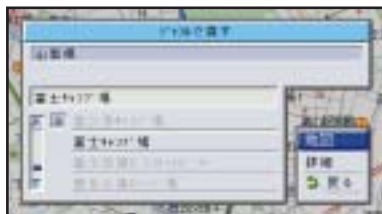


8. ジョイスティックを上下に倒して **富士キャンプ場** を選び、〔決定〕ボタンを押す。

スケールコントローラーを倒すと、「あ行」から「か行」と、リストを行ごとに送ることができます。



9. **地図** を選び、〔決定〕ボタンを押す。



10. 〔決定〕ボタンを押す。

行き先が設定されて、地図上に旗マークがつけます。

〔決定〕ボタンを押す前に、ジョイスティックを倒して地図を動かすこともできます。



11. **探索開始** を選び、〔決定〕ボタンを押す。

現在地から行き先までのルートを探し始めます。
(探し終わるまでの時間は、現在地と行き先の距離によって異なります。)



探索が終わると、ルートの候補が6本表示されます。



12. ジョイスティックを左右に倒して候補から好みのルートを選び、〔決定〕ボタンを押す。

候補ルートは6本表示されます。(すべての候補ルートが同じルートになることもあります。)



ルートが設定されました。
続いて「ナビゲーションに道案内をさせよう」(P.30)をご覧ください。

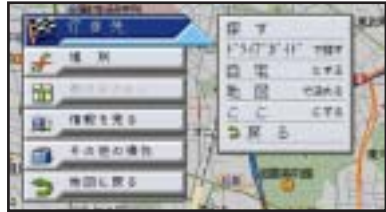


行き先を決めてルートを設定しよう

住所から行き先を探してみよう

ナビゲーションブックでは▶ Chapter3の「住所を指定して探す」

1. [メニュー] ボタンを1回押してメインメニューを表示させる。



2. **行き先** を選び、[決定] ボタンを押す。



3. **探す** を選び、[決定] ボタンを押す。

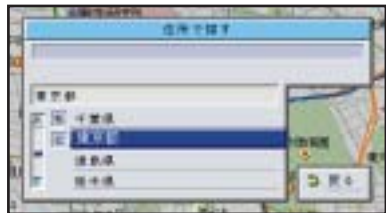


4. ジョイスティックを上下に倒して **住所で探す** を選び、[決定] ボタンを押す。

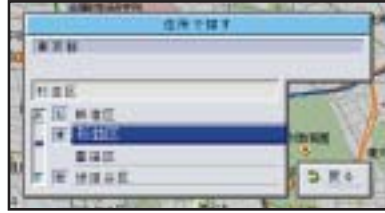


5. ジョイスティックを上下に倒して都道府県名を選び、[決定] ボタンを押す。

スケールコントローラーを倒すと、「あ行」から「か行」と、リストを行ごとに送ることができます。

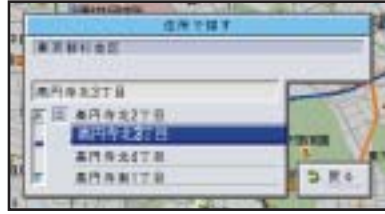


6. ジョイスティックを上下に倒して市区町村名を選び、〔決定〕ボタンを押す。



7. ジョイスティックを上下に倒して地名を選び、〔決定〕ボタンを押す。

地名を選んで〔決定〕ボタンを押した後、番地のリストが表示された場合は、探したい場所の番地を選び、〔決定〕ボタンを押してください。号のリストが表示された場合も、同様に操作してください。



8. ジョイスティックを上下・左右・斜めに倒して十字カーソルを行き先の位置に合わせ、〔決定〕ボタンを押す。

行き先が設定されて、地図上に旗マークがつきます。



9. **探索開始** を選び、〔決定〕ボタンを押す。

現在地から行き先までのルートを探し始めます。
(探し終わるまでの時間は、現在地と行き先の距離によって異なります。)



探索が終わると、ルートの候補が6本表示されます。



10. ジョイスティックを左右に倒して候補から好みのルートを選び、〔決定〕ボタンを押す。

候補ルートは6本表示されます。(すべての候補ルートが同じルートになることもあります。)



ルートが設定されました。
続いて「ナビゲーションに道案内をさせよう」(P.30)をご覧ください。



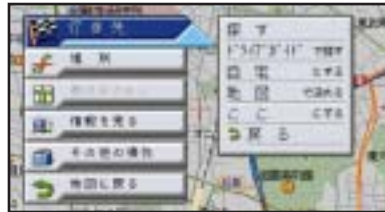
電話番号から行き先を探してみよう

ナビゲーションブックでは▶ Chapter3の「電話番号を入力して探す」

- 1.〔メニュー〕ボタンを1回押し、メインメニューを表示させる。



2. **行き先** を選び、〔決定〕ボタンを押す。



3. ジョイスティックを上下に倒して **探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す。



4. ジョイスティックを上下に倒して **電話番号で探す** を選び、〔決定〕ボタンを押す。



行き先を決めてルートを設定しよう

5. リモコンの10キーを押して、電話番号を市外局番から入力する。
市外局番と市内局番までの入力でもおおまかに探すことができます。
ジョイスティックで選んで〔決定〕ボタンで入力することもできます。
ハイフンを入力する必要はありません。



6. 番号を入力し終わったら、ジョイスティックを上下・左右に倒して「探す」を選び、〔決定〕ボタンを押す。

電話番号を全桁入力した場合は、入力が終わると該当する場所を自動的に探し始めます。



7. ジョイスティックを上下・左右・斜めに倒して十字カーソルを行き先の位置に合わせ、〔決定〕ボタンを押す。

行き先が設定されて、地図上に旗マークがつけます。

行き先の近くにある代表的な施設などが表示された場合は、地図を動かさずにそのまま〔決定〕ボタンを押すこともできます。



8. **探索開始** を選び、〔決定〕ボタンを押す。

現在地から行き先までのルートを探し始めます。
(探し終わるまでの時間は、現在地と行き先の距離によって異なります。)



探索が終わると、ルートの候補が6本表示されます。



9. ジョイスティックを左右に倒して候補から好みのルートを選び、〔決定〕ボタンを押す。

候補ルートは6本表示されます。(すべての候補ルートが同じルートになることもあります。)



ルートが設定されました。
続いて「ナビゲーションに道案内をさせよう」(P.30)をご覧ください。



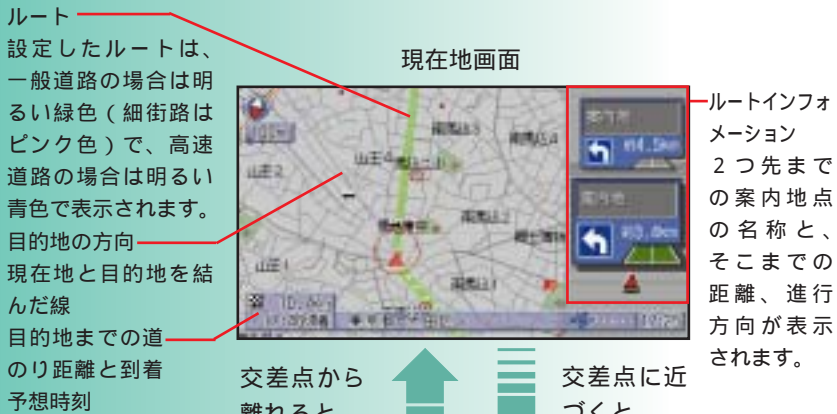
行き先を決めてルートを設定しよう

現在地画面を表示させ、車をスタートさせよう

ナビゲーションブックでは▶ Chapter2の「ルートが決まったら」

ルート案内中の現在地画面

車をスタートさせると、車の動きに合わせて画面が変わっていきます。ルートを設定したときは、画面に次の情報を表示して、目的地までの道のりを案内します。交差点など、進行方向が変わるポイント（案内地点といひます）の情報も、画面に表示されます。



高速道路の出口やジャンクションに近づくと

都市高速では、インターチェンジやジャンクションの1km手前になると、音声案内が流れると同時に、インターチェンジなどをイラストで表示します。インターチェンジやジャンクションのおよそ500m手前になると、画面が交差点案内表示に切り換わります。

ルートから外れてしまったら

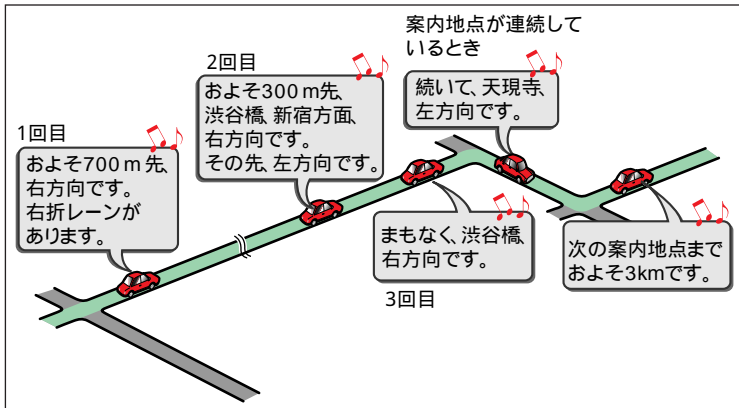
予定外のちょっとした寄り道などでルートから外れてしまっても、案内中のルートに戻るよう、自動的にルートを修正します。(オートリルート)

音声による誘導・案内

ルート案内中は、ドライビングの状況や車の速度に応じて、進行方向や案内地点までの距離などを、音声できめ細かく案内します。

一般道路を走行しているときは

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大3回、音声案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内も表示されます。(交差点間が150m以内の複合交差点では交差点案内が連続して表示されず。)



高速道路を走行しているときは

インターチェンジやジャンクションのおよそ500m手前になると、交差点案内が表示されます。出口の料金所では、料金とこれから進む方向を案内します。(高速道路上でルート設定を行った場合や、高速道路上でルートの変更を行った場合は、料金は案内されません。)

都市高速では、2回目の音声案内と同時に、出口やジャンクションのイラストが画面に表示されます。

音声操作のポイント

- AVIC-D9500 / D7000で音声操作を行うには、通信 / 音声認識キット「CD-HV100」(別売)が必要です。
- AVIC-D6500で音声操作を行うには、音声認識キット「CD-V100」(別売)が必要です。

音声で操作するときは、次のポイントをおさえて操作してください。

発話した言葉を正しく認識させるためには、「カーステレオの音量を下げる」「窓を閉めておく」「音声認識語を正しく発話する」など、いくつか気をつけていただきたいことがあります。ここで紹介した操作がうまくできなかったときは、『ナビゲーションブック』Chapter11を読んで、音声操作のしかたを確認してください。

発話するときは、“ブツ”と音が鳴って画面左下に表示されているキャラクターが首をかしげ、マイクを差し出してから発話してください。通常の姿勢(首をかしげていない状態)のときは、〔発話〕ボタンを押すと、首をかしげて、発話を受け付けられる状態になります。

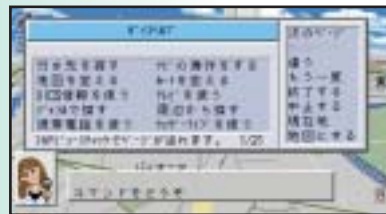


この状態のときに発話してください。



この状態のときは発話できません。

停車しているときは、〔発話〕ボタンを押すとボイスヘルプ画面(P.35)も同時に表示されます。ボイスヘルプ画面では、そのときに発話できる主な音声認識語が表示されます。(表示されなくても発話できる言葉もあります。)



正しく認識されなかったときは、〔訂正〕ボタンを押してください。言い間違えたときは、“戻る”と発話して、もう一度発話し直してください。

操作が途中でわからなくなったときは、“終了する”と発話して、もう一度やり直してください。

操作の流れを覚えよう

まずはひとこと話すだけで操作できる機能で、音声操作のコツをつかんでみましょう。手始めに、地図の表示方法を変えてみます。音声操作に慣れるまで、停車状態で“ブツ”という音とキャラクターが首をかしげるタイミングをつかんでおきましょう。

走行時には画面を注視することは避けましょう。“ブツ”という音をきっかけに、発話してください。

1.〔発話〕ボタンを押して音声操作を始める。



音声認識コントローラー

2.“ブツ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、マイクに向かって“スカイビュー”と発話する。



スカイビュー

地図の表示がスカイビューに変わります。

発話する人とマイクの距離が遠すぎたり、逆に近すぎたりすると、うまく認識されません。うまく認識されない場合は、20cm～100cm程度の間で距離を変えてみてください。

地図の縮尺を変える

- 1.〔発話〕ボタンを押し、“ブッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら“広域”(または“詳細”)と発話する。



コマンドをどうぞ

ブッ

こういき
しょうさい

地図の縮尺が変わります。

直接地図の縮尺を指定することもできます。

- 例： 100mスケール(ひゃくメータースケール)
200mスケール(にひゃくメータースケール)

地図の表示方法を変える

- 1.〔発話〕ボタンを押し、“ブッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら“ノーマルビュー”と発話する。



コマンドをどうぞ

ブッ

ノーマルビュー
地図の縮尺がノーマル
ビューに変わります。

次の言葉も発話できます。

スカイビュー ナイアガラビュー ドライバーズビュー
ツインビュー ハイウェイモード ハイウェイマップ
ビュー切り換え

自宅に帰るルートを探索する

音声操作で、自宅への帰り道をすぐに探索できます。

- 1.〔発話〕ボタンを押し、“ブッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら“自宅へ帰る”と発話する。



コマンドをどうぞ

ブッ

じたくへかえる
自宅に帰るルート
を探し始めます。音
声操作の場合、探索
が終わると自動的
にルートが設定さ
れます。

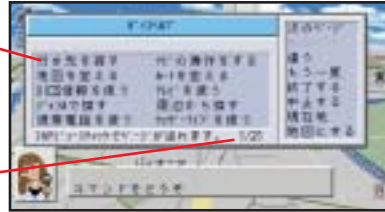
ナビゲーションの誘導に従って操作しよう

発話できる言葉がわからなくても、停車中であれば、発話できる単語のリスト(ボイスヘルプ)を表示させ、その中から選んで発話していくことができます。

地図をスカイビューで表示させてみましょう。

1. [発話]ボタンを押す。

ボイスヘルプの表示
発話できる言葉が表示されます。



ページ数

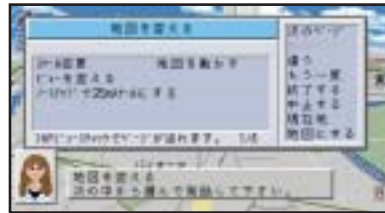
画面に一度に表示しきれないときは、“次のページ”または“前のページ”と発話すると他のページを見ることができます。また、マルチビュースティックを上下に倒して、ページを切り換えることも可能です。

2. ボイスヘルプから発話したい

言葉を選び、キャラクターが首をかしげていることを確認して、“地図を変える”と発話する。(首をかしげていないときは[発話]ボタンを押すと首をかしげます。)

ちずをかえる

ボイスヘルプには次に発話できる言葉が表示されます。(ナビゲーションが発話できる言葉を読み上げることもあります。)



3. “プツ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、ボイスヘルプから言葉を選び、発話する。

ビューをかえる

4. “プツ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、ボイスヘルプから言葉を選び、発話する。

スカイビュー

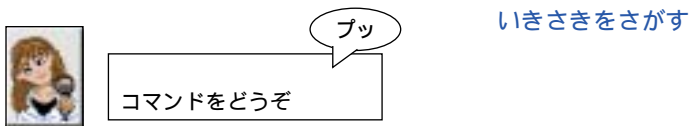
これで、地図の表示がスカイビューに変わります。

行き先を決めてルートを探さしてみよう

ジャンル名を指定して行き先を探し、そこまでのルートを探させることができます。

ディズニーランドまでのルートを探させてみましょう。

- 1.〔発話〕ボタンを押し、“プッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら“行き先を探す”と発話する。



- 2.“プッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら“遊園地”と発話する。



- 3.“プッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら“ディズニーランド”と発話する。



ルート探索が始まります。
音声で操作している場合、
探索が終わると自動的に
ルートが設定されます。



施設名を発話してからルート探索を始めよう

先に施設名称を発話してから、その施設に対する操作（行き先にする、地図を見るなど）を決めることができます（施設名ダイレクトスタート）。

- 1.〔発話〕 ボタンを2秒以上長く押し、“ブッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、施設名称を発話する。



名称をどうぞ

ブッ

日高カントリーコース（例）

- 2.“ブッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、ジャンル名を発話する。



ジャンルの名称
または観光地名をどうぞ

ブッ

ゴルフ場（例）

- 3.“ブッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、都道府県名を発話する。



ゴルフ場
都道府県名をどうぞ

ブッ

埼玉県（例）

- 4.“ブッ”と音が鳴ってキャラクターが首をかしげたら、コマンドを発話する。



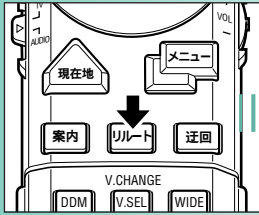
日高CC
コマンドをどうぞ

ブッ

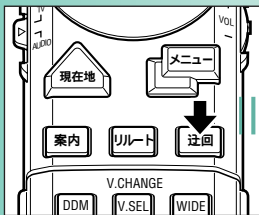
ここへ行く

ルート探索が始まります。音声で操作している場合、探索が終わると自動的にルートが設定されます。

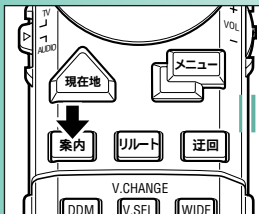
ルートから外れてしまったので戻りたい



突然の渋滞や工事などを迂回したい

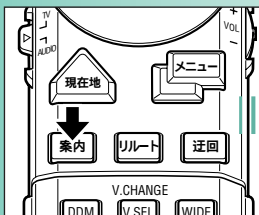


聞き逃した音声案内をもう一度聞きたい



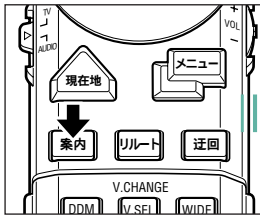
次の案内地を地図で確認したい

スクロール画面にして



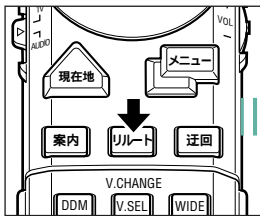
次の案内地（交差点案内表示） 目的地 現在地の順で表示

ルート上の渋滞の有無を確認したい



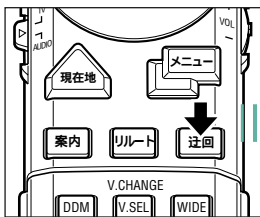
2秒以上長く押す

自宅に帰るルートをすばやく探したい



2秒以上長く押す

地図の文字を一時的に消したい



2秒以上長く押す
(押している間文字が消えます。)

ワンタッチでできる操作を覚えよう

クイックブック

QUICK
BOOK

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

☎0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

☎0070-800-8181-33

<ご注意> PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2000

< 00D00F0K00 > < CRA3000-A >